

# 播陽証券 ＝注目・外株銘柄＝ (2026年2月)

## 【米国市場・20銘柄掲載】

### <新規>

- P1【半導体】 インテル(INTC)
- P2【半導体】 アプライドマテリアルズ(AMAT)
- P3【製薬バイオ】 ギリアド・サイエンシズ(GILD)
- P4【航空宇宙】 RTX(RTX)
- P5【航空宇宙】 ボーイング(BA)
- P6【素材】 フリーポート・マクモラン(FCX)

### <継続>

- P7【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)
- P8【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)
- P9【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)
- P10【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOG)
- P11【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)
- P12【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)
- P13【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)
- P14【半導体】 ブロードコム(AVGO)
- P15【ソフトウェア】 オラクル(ORCL)
- P16【ITサービス】 IBM(IBM)
- P17【データ解析】 パランティア・テクノロジー(PLTR)
- P18【フィンテック】 ソーファイ・テクノロジー(SOFI)
- P19【航空宇宙】 ロケット・ラボ(RKLB)
- P20【電子部品】 ルメンタム・ホールディングス(LITE)

(株価データ、株価指標は現地2026年1月29日現在)

### <新規>

- 米ロジック半導体大手
- 半導体製造装置世界大手
- 感染症薬からがん治療薬まで多角化進む大手バイオ企業
- 航空宇宙・防衛まで手掛ける巨大コングロマリット
- エアバスを覇権を争う航空機製造世界大手
- 銅を中心とした鉱山会社

### <継続>

- 時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
- ソフトウェア世界最大手
- デジタルIT機器の設計・販売大手
- インターネット検索世界最大手
- インターネット小売世界最大手
- SNS運営世界最大手
- 米電気自動車(EV)大手
- 企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手
- データ管理ソフト世界最大手、クラウド市場で大躍進
- 長年の連続増配実績を持つIT業界の老舗企業
- 防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供
- SB出資の学生・住宅ローンを提供するグロース企業
- スペースXの対抗馬、垂直統合型の宇宙ビジネス専門企業
- 光部品・商用レーザーの米国大手

### コンピュータの心臓部、CPUの世界最大手、先端半導体競争でTSMCに巻き返し

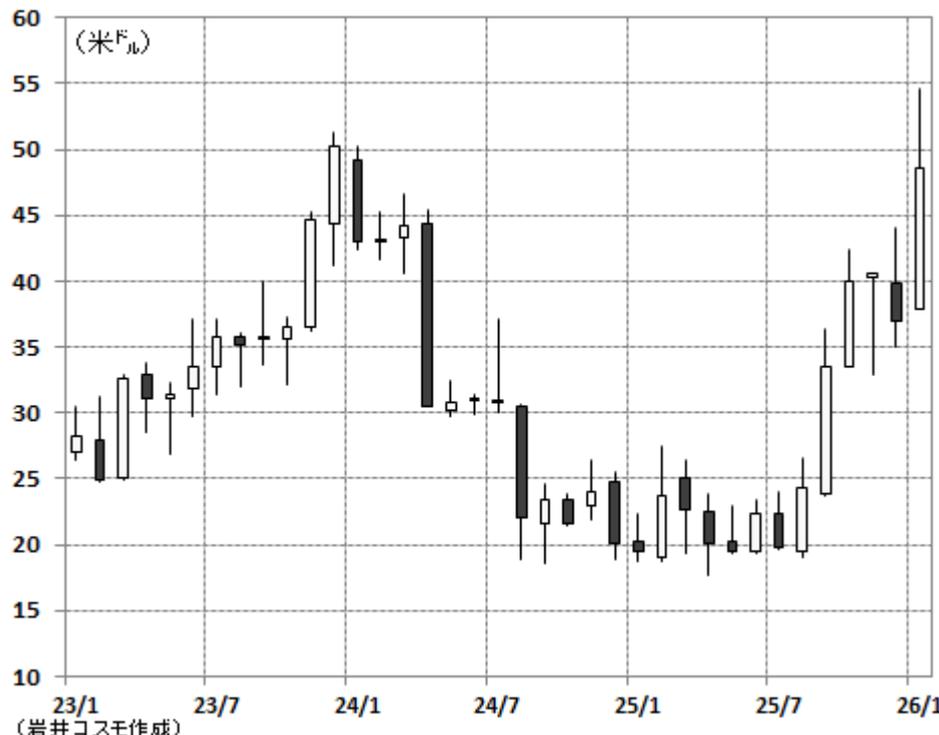
#### 会社概要

1968年にロバート・ノイスらが設立。世界初の商用マイクロプロセッサ「4004」を生んだ半導体業界の先駆者。PCおよびサーバ向けCPUで長年圧倒的シェアを維持。近年はAI、5G、自動運転(Mobileye)などデータ中心の成長分野へ経営資源を集中させる。25年3月に就任したリップ・ブータンCEOの下、技術主導での再建を加速。本社は米カリフォルニア州。25年12月時点の従業員数は85,100人。

#### 注目ポイント

□ **「18A」始動とCES 2026**: 社運を賭けた「Intel 18A」プロセス(1.8nm相当)の量産化に成功。1月のCESでは、同プロセス採用のAI PC向け「Core Ultra シリーズ3」を発表。NPU等を統合したAI性能は最大180TOPSに達し、電力効率でも競合を凌駕。データセンター向け「Xeon 6+」も投入し、技術的優位性の復権をアピールした。

□ **エヌビディア・政府が巨額出資**: 25年12月に競合するエヌビディアから50億ドル(約4.3%相当)の出資を受け入れ、AIインフラの共同開発で合意。これに先立つソフトバンクGの20億ドル出資に加え、トランプ政権下のCHIPS法に基づく政府直接出資も確定(5.5%保有)。国家安全保障上の重要拠点としてアップル等からの受託生産獲得も目指す。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	48.66 ( 01/29 )
52週高値(日付)	54.595 ( 26/01/22 )
52週安値(日付)	17.665 ( 25/04/08 )
時価総額	2,431億ドル 37兆2,144億円
株価変化率(%)	139.2 (過去6ヶ月間) 143.2 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	2.2 (倍)
株価売上高比率	2.6 (倍)
PBR	0.2 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-0.3 (%)
株式ベータ	1.47 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	53,101	-2	-11,678	赤字転落	-18,756	赤字	-4.38	0.38
2025/12	52,853	-0	-2,214	赤字幅減少	-267	赤字	-0.06	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2024/Q4	14,260	—	412	—	-126	—	-0.03	0.00
2025/Q4	13,674	-4	580	41	-591	赤字	-0.12	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 先端パッケージングに強みを持つ半導体製造装置の世界大手

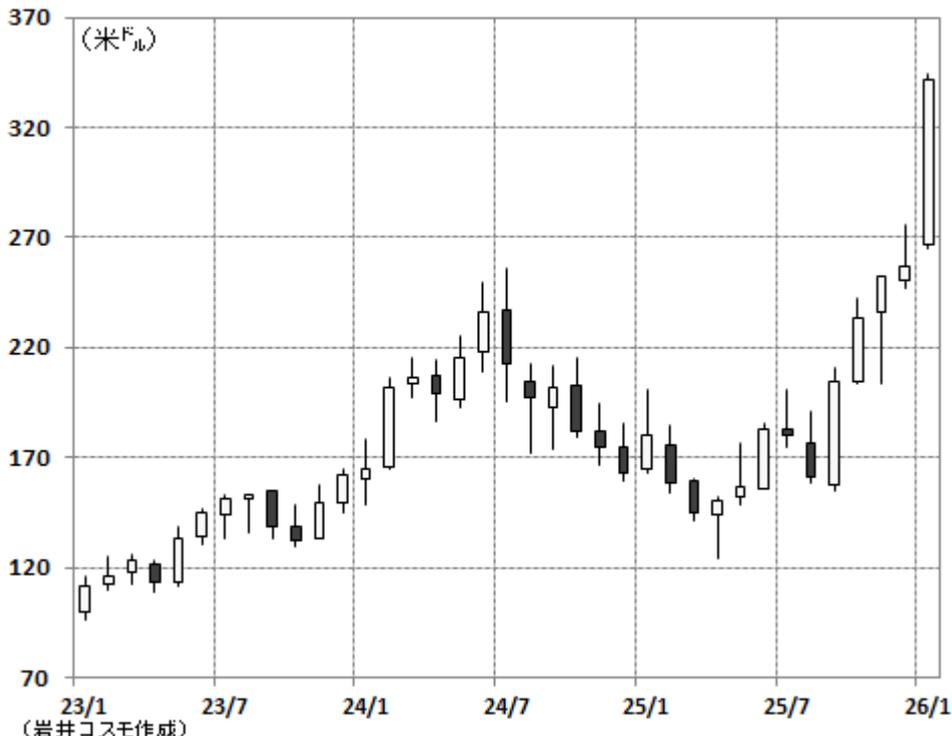
#### 会社概要

半導体製造装置世界大手。成膜、エッチング、検査、CMPなど前工程のほぼ全域を網羅、特に材料工学を駆使したCVDやPVD装置で圧倒的シェアを誇る。主要顧客はTSMC、サムスン、インテル等。25年末よりディスプレイ事業を統合し、経営資源を半導体とサービス部門へ集中。26年春にはシリコンバレーの新拠点「EPICセンター」が稼働し、顧客との次世代技術共創を加速させる。本社は米カリフォルニア州。

#### 注目ポイント

□ **AI半導体を支える「材料工学」**： AIインフラ拡大に伴い、従来の微細化に加え「ハイブリッドボンディング」等の先端パッケージング技術が成長の柱。AIチップに不可欠なHBM製造でも強みを発揮する。26年後半からは先端ロジック向け需要が加速する見通し。

□ **GAA移行とサービス収入の盤石化**： 2ナノ以降の主流「GAA」構造や「裏面電源供給」への転換は、得意とする成膜・エッチングの需要を構造的に押し上げ、GAA関連シェアは50%超を維持。保守・サービス事業が強みで、26年度より完全な継続課金型(サブスク)へ移行。売上の約3割を占める安定収益が、市況変動の緩衝材として機能する。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	341.34 ( 01/29 )
52週高値(日付)	344.53 ( 26/01/29 )
52週安値(日付)	123.93 ( 25/04/07 )
時価総額	2,709億ドル 41兆4,819億円
株価変化率(%)	80.2 (過去6ヶ月間) 87.8 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	36.5 (倍)
株価売上高比率	9.7 (倍)
PBR	13.3 (倍)
税前提当利回り(%)	0.54 (直近年率)
配当成長率(%)	17.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.5 (%)
株式ベータ	1.55 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/10	27,176	2	7,867	3	7,177	5	8.61	1.52
2025/10	28,368	4	8,289	5	6,998	-2	8.66	1.78
四半期業績								
2024/Q4	7,045	—	2,046	—	1,731	—	2.09	0.40
2025/Q4	6,800	-3	1,712	-16	1,897	10	2.38	0.46

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

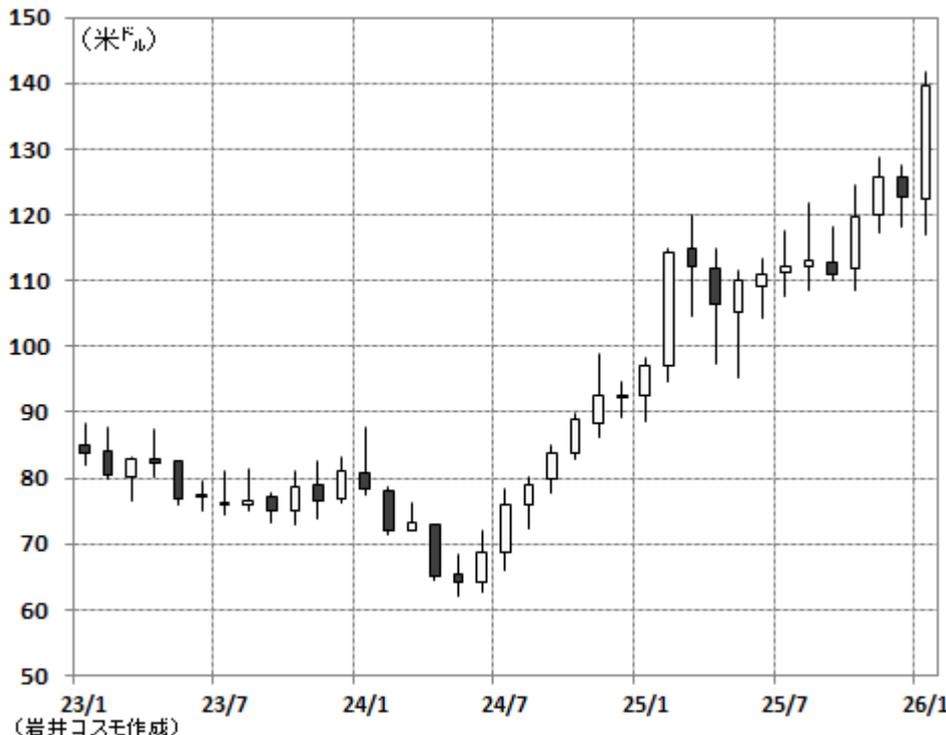
#### 会社概要

米カリフォルニア州フォスターシティに本社を置くバイオ医薬品メーカー、1987年設立。抗HIV(エイズ)薬に強みを持ち、B・C型肝炎、高血圧、がん等を研究対象とする。C型肝炎治療薬が2015年にかけて爆発的に売れたがその後ピークアウト。2017年にCAR-T療法の米カイトファーマを買収し、2019年には欧州ガラパゴスと提携強化。日本法人は2012年設立。現在の従業員数は約17,600人(24年末)。

#### 注目ポイント

□ **がん・肝疾患薬が伸長し多様化**：注力するがん領域が成長軌道に乗り、血液がん向け細胞治療「CAR-T」に加え、乳がん薬「トロテルビィ」の適応拡大が寄与。24年買収で獲得した原発性胆汁性胆管炎の治療薬「リブテルジ」も好調。コロナ薬「レムデシビル」の特需剥落分を、HIV分野の新薬群が補う収益構造へ転換を果たした。

□ **年2回のHIV予防薬が市場席巻**：最大の収益柱であるHIV治療薬「ビクタリブ」が依然堅調。加えて25年6月に承認された長時間作用型HIV予防薬(PrEP)「サンルカ」がゲームチェンジャーとして台頭。年2回の注射で済む利便性から、従来の毎日服用型からの切り替えが加速し、中長期的な成長ドライバーとして期待される。



株価チャート (2023年以降・月足)

#### 株価データ

株価(米ドル)	139.55 ( 01/29 )
52週高値(日付)	141.71 ( 26/01/27 )
52週安値(日付)	94.58 ( 25/02/10 )
時価総額	1,731億ドル 26兆5,090億円
株価変化率(%)	21.6 (過去6ヶ月間) 43.9 (過去1年間)

#### 株価指標(バリュエーション)

実績PER	19.2 (倍)
株価売上高比率	6.0 (倍)
PBR	8.0 (倍)
税前配当利回り(%)	2.26 (直近年率)
配当成長率(%)	2.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	40.5 (%)
株式ベータ	0.55 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	27,116	-1	7,605	4	5,665	23	4.50	3.00
2024/12	28,754	6	1,662	-78	480	-92	0.38	3.08

#### 四半期業績

2024/Q3	7,545	—	888	—	1,253	—	1.00	0.77
2025/Q3	7,769	3	3,327	275	3,052	144	2.43	0.79

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 航空宇宙・防衛会社、航空機エンジンから防衛装備品まで手掛ける巨大コングロマリット

#### 会社概要

1922年創立。2020年にレイセオンとユナイテッド・テクノロジーズが合併・誕生した、世界最大級の航空宇宙・防衛企業。傘下に航空機エンジンのプラット&ホイットニー、航空電子機器のコリス・エアロスペース、防衛システムのレイセオンの3部門を持つ。民間航空機の旺盛な需要に加え、地政学的リスクの高まりを背景に地对空ミサイル「パトリオット」などの防衛需要が急増。25年末時点の受注残高は2,680億ドルと過去最高。

#### 注目ポイント

□ **26年も増収増益見込み**：26年通期見通しは売上高920億～930億ドル(前年比4～5%増)、調整後EPSは6.60～6.80(前期6.29)ドルを計画。防衛予算の拡大を背景に、弾薬の生産能力を20%引き上げるなど供給力を強化。また、民間航空市場での保守・点検需要も堅調で、26年のフリーキャッシュフローは前年比最大10%増の82.5億～87.5億ドルを見込む。

□ **米政府のミサイル防衛に関与**：第2次トランプ政権による「米本土ミサイル防衛網の強化」方針が強力な追い風となる期待がある。要撃ミサイルや最新型レーダーなどに強みを持ち、同分野への予算配分拡大が予想され、中長期的な受注拡大の可能性が高まっている。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	199.88 ( 01/29 )
52週高値(日付)	205.05 ( 26/01/28 )
52週安値(日付)	112.31 ( 25/04/07 )
時価総額	2,680億ドル 41兆0,325億円
株価変化率(%)	26.2 (過去6ヶ月間) 55.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	31.8 (倍)
株価売上高比率	3.0 (倍)
PBR	4.1 (倍)
税前提当利回り(%)	1.36 (直近年率)
配当成長率(%)	7.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	10.7 (%)
株式ベータ	0.76 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	80,738	17	6,538	84	4,774	49	3.55	2.48
2025/12	88,603	10	9,300	42	6,732	41	4.96	2.67

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q4	21,623	—	2,111	—	1,482	—	1.10	0.63
2025/Q4	24,238	12	2,596	23	1,622	9	1.19	0.68

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## 航空機製造の世界大手、民間旅客機部門の量産化が復活のカギ

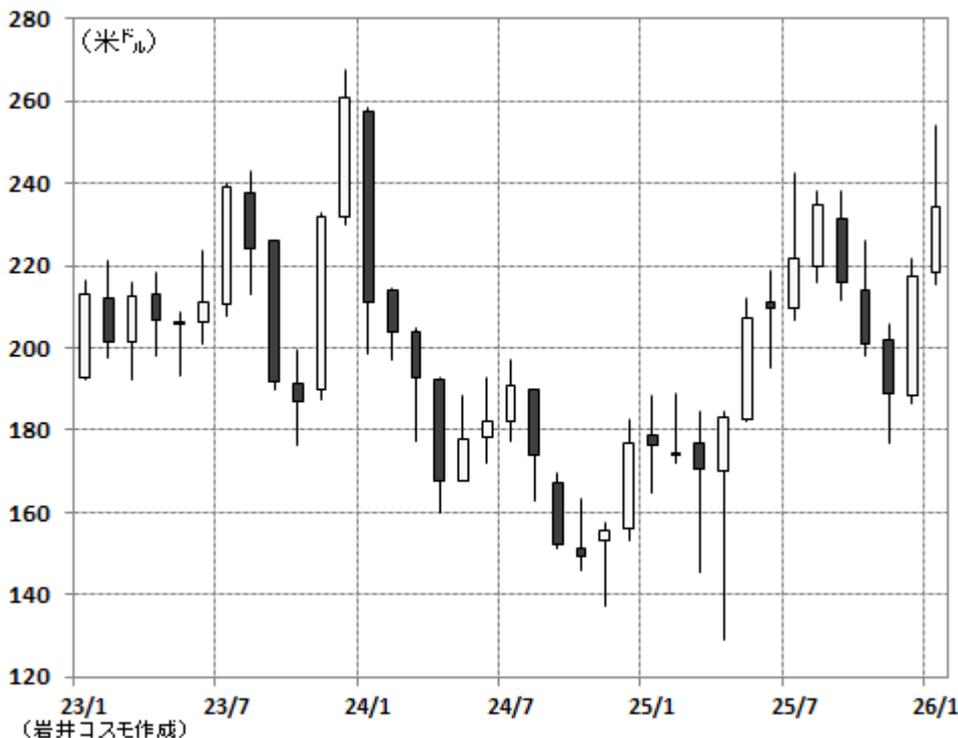
### 会社概要

1916年創立。世界最大級の航空宇宙機器開発製造会社。民間航空機、防衛・宇宙・セキュリティ、グローバルサービスの3部門で構成。欧州エアバスと市場を二分するが、近年は主力機「737MAX」の品質問題や長期ストライキにより業績が低迷。24年8月に就任したオートバグ CEOの下、現場主義への回帰と経営再建を急ぐ。25年12月に機体構造大手スピリット・エアロシステムの買収手続きを完了した。

### 注目ポイント

□ **新CEO下で品質改革**： 相次ぐ不祥事を受け、他社出身の技術者であるケリー・オートバグがCEOに就任。「工場への回帰」を掲げ、品質管理の徹底を図る。24年秋のストライキ終結を受け、主力の737MAXの生産を再開。米連邦航空局による生産機数制限の解除と月産38機体制への早期復帰が黒字化への絶対条件となる。

□ **次世代軍用機で受注攻勢**： 米空軍の次世代制空戦闘機システムや無人機の開発競争で存在感を発揮。F-15EX戦闘機の調達継続に加え、T-7A練習機の量産も本格化。防衛・宇宙部門の受注残高は25年末で約848億ドルに達している。NASAのアルテミス計画(月面探査)向けSLSロケットも継続的な貢献を見込む。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	234.04 ( 01/29 )
52週高値(日付)	254.2 ( 26/01/27 )
52週安値(日付)	128.92 ( 25/04/07 )
時価総額	1,833億ドル 28兆0,605億円
株価変化率(%)	3.6 (過去6ヶ月間) 30.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	2.0 (倍)
PBR	33.7 (倍)
税配前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	1.25 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	66,517	-14	-10,707	赤継	-11,875	赤継	-18.36	0.00
2025/12	89,463	34	4,281	黒転	1,890	黒転	2.48	0.00
四半期業績								
2024/Q4	15,242	—	-3,770	—	-3,923	—	-5.46	0.00
2025/Q4	23,948	57	8,777	黒転	8,134	黒転	10.23	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

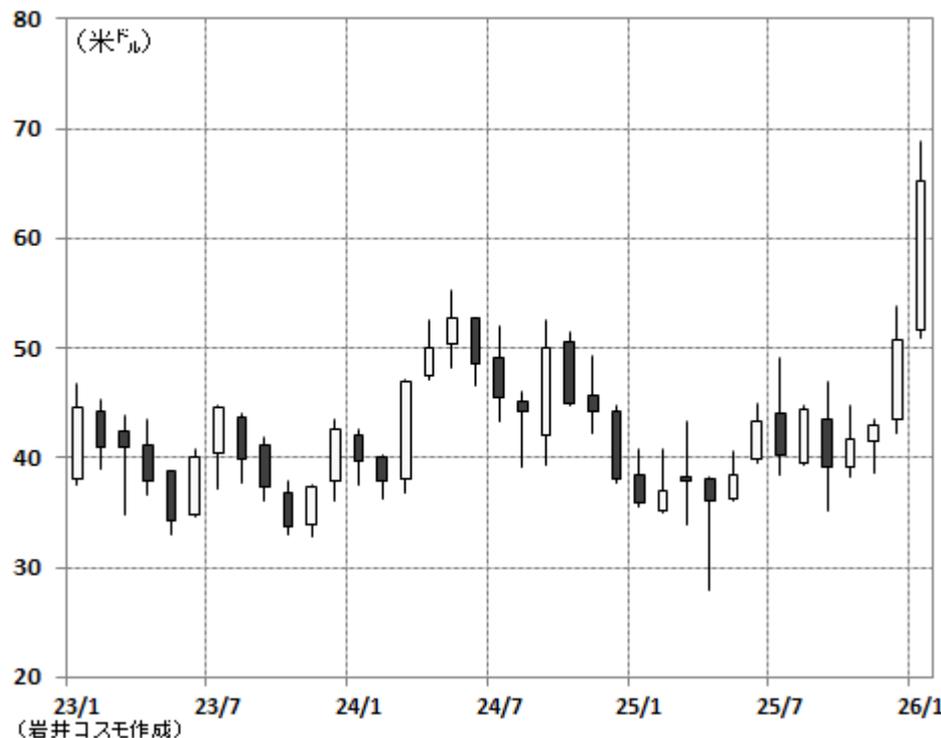
### 世界を代表する銅鉱山企業、AIインフラ需要拡大を背景にした銅価格上昇の恩恵享受

#### 会社概要

1981年設立(前身は1912年)。米フェニックスに本社を置く世界最大級の銅生産企業で、S&P500構成銘柄。銅、金、モリブデンの鉱山開発・運営を行う。北米、南米、インドネシアに資産を持ち、特にインドネシアのグラスバルク鉱山は世界屈指の銅・金埋蔵量を誇る。脱炭素社会の実現に不可欠な銅の供給プレイヤーとして存在感を発揮。24年度の銅販売量は約41億ポンド、金は約184万オンス。

#### 注目ポイント

- **新技術「リーチング」で増産へ**：既存の堆積した岩石から銅を抽出する新技術「リーチング」の導入を加速。大規模な鉱山開発投資を伴わずに、低コストかつ短期間で生産量を拡大できる点が強み。会社計画では将来的に年間8億ポンド(大規模鉱山1つ分に相当)の増産能力確保を目指しており、利益率の大幅な改善が期待される。
- **銅不足とAI需要が追い風**：EV普及やAIデータセンターの電力設備増強により銅の需給が逼迫。同社は業界トップクラスの生産能力を有し、市況上昇の恩恵を直接的に受けるポジションにある。また、インドネシアでは2024年6月に新規製錬所が稼働、7月には輸出許可も取得し、同国での事業安定化と高付加価値化を実現した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	65.13 ( 01/29 )
52週高値(日付)	68.89 ( 26/01/29 )
52週安値(日付)	27.92 ( 25/04/07 )
時価総額	935億ドル
	143,192億円
株価変化率(%)	66.4 (過去6ヶ月間)
	77.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	50.9 (倍)
株価売上高比率	3.6 (倍)
PBR	4.9 (倍)
税前提当利回り(%)	0.92 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	12.0 (%)
株式ベータ	1.38 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	25,455	11	6,864	10	1,889	2	1.30	0.600
2025/12	25,915	2	6,518	-5	2,204	17	1.52	0.600
四半期業績								
2024/Q4	5,720	—	1,243	—	274	—	0.19	0.150
2025/Q4	5,633	-2	811	-35	406	48	0.28	0.150

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

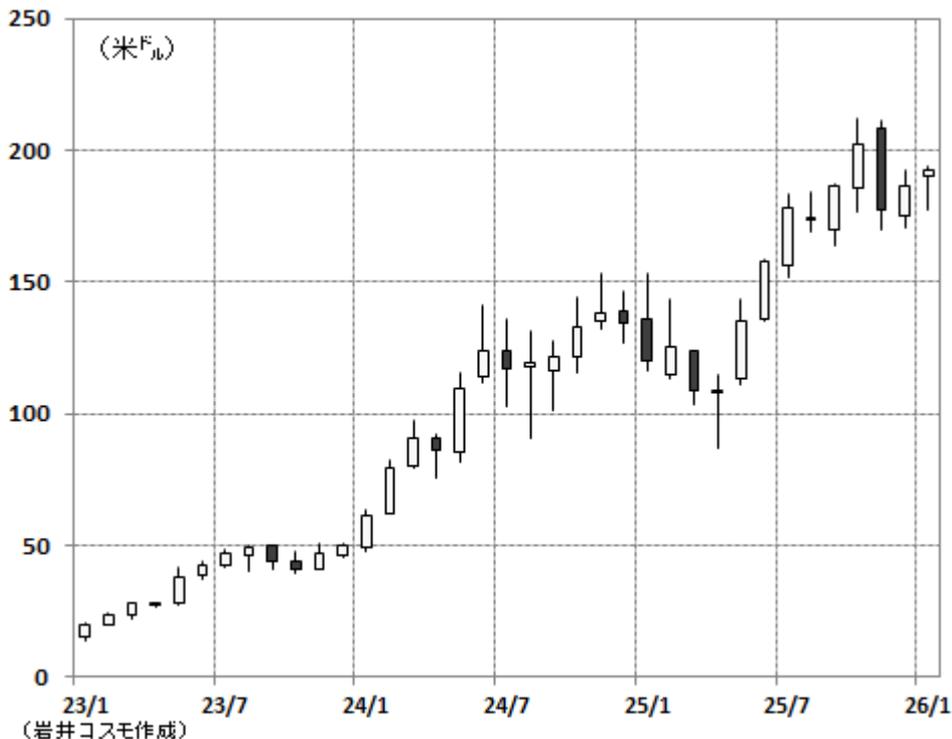
#### 会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが88%、ゲーム市場向けが9%、プロ向けの視覚化技術が1.4%、自動車向けが1.3%、OEM&IPが0.3%(25年1月期)。

#### 注目ポイント

**AI半導体で主導権:** 8-10月期売上高は前年同期比62%増の570億ドルと過去最高を更新。AI半導体「Blackwell」の本格量産が収益を牽引し、粗利益率も70%台半ばの高水準を維持した。11-1月期の売上高見通しは650億ドル前後と、市場予想を上回る強気な姿勢を示す。学習用から推論向けへと需要が拡大する中、AIインフラの「必須品」としての圧倒的支配力は当面揺るがない見込み。

**中国へAI半導体出荷を再開見込み:** 1月の報道によれば、第2次トランプ政権が認可し、AI半導体「H200」の停滞していた中国市場向け出荷が2月中旬より開始される予定。米トランプ政権が売上の25%を徴収する条件で輸出を認める異例の合意が成立している。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	192.51 ( 01/29 )
52週高値(日付)	212.15 ( 25/10/29 )
52週安値(日付)	86.63 ( 25/04/07 )
時価総額	4兆6,780億ドル 716兆2475億円
株価変化率(%)	7.4 (過去6ヶ月間) 54.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	48.7 (倍)
株価売上高比率	25.1 (倍)
PBR	39.4 (倍)
税前提当利回り(%)	0.02 (直近年率)
配当成長率(%)	17.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	107.4 (%)
株式ベータ	1.85 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/01	60,922	126	32,972	681	29,760	581	1.19	0.016
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034
四半期業績								
2025/Q3	35,082	—	21,869	—	19,309	—	0.78	0.010
2026/Q3	57,006	62	36,010	65	31,910	65	1.30	0.010

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で高成長続く

#### 会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

#### 注目ポイント

□**クラウド事業の拡大が奏功**: 10-12月期売上高が前年同期比17%増の813億ドルと市場予想を超過。なかでも「アジュール」を含むインテリジェント・クラウド部門の売上高は29%増の329億ドルと高成長を継続。自社製AI半導体「Maia」の本格導入やデータセンターへの巨額投資により、供給能力不足の解消と収益性の両立を急いでいる。

□**オープンAIとの強固な提携**: 25年10月のオープンAI再編に伴い、同社への出資比率は27%と筆頭株主の地位を堅持。同期決算では再編に伴う100億ドルの評価益を計上、6割最終増益要因に。売上先行指標となる企業向け受注残高は前年比倍増の6,310億ドルに達し、その約45%をオープンAI関連が占めた。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	433.5 ( 01/29 )
52週高値(日付)	555 ( 25/07/31 )
52週安値(日付)	344.83 ( 25/04/07 )
時価総額	3兆2,190億ドル 492兆8627億円
株価変化率(%)	-15.5 (過去6ヶ月間) 4.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.9 (倍)
株価売上高比率	10.5 (倍)
PBR	8.2 (倍)
税前提当利回り(%)	0.84 (直近年率)
配当成長率(%)	10.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	34.4 (%)
株式ベータ	1.02 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.24

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2025/Q2	69,632	—	31,653	—	24,108	—	3.23	0.83
2026/Q2	81,273	17	38,275	21	38,458	60	5.16	0.91

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

# 播陽証券

社名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上場市場

ナスダック

セクター

IT機器

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

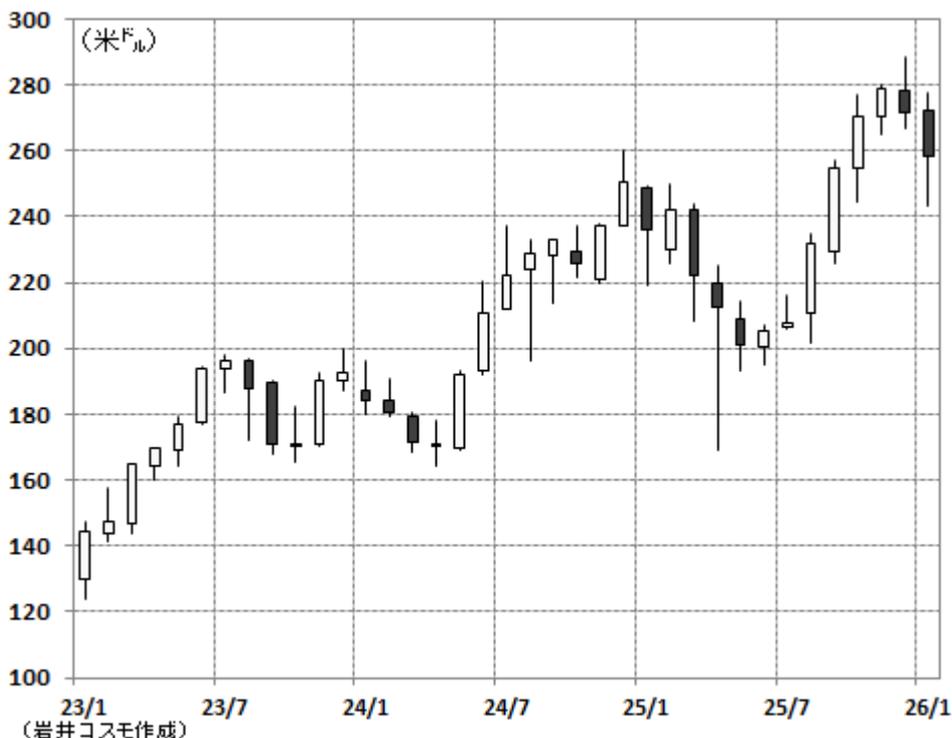
## 会社概要

スマートフォン(スマホ)「アイフォン」や、タブレットPC「アイパッド」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

## 注目ポイント

□ **アップル版生成AI(日本語版)開始**: 生成AI「アップルインテリジェンス」が日本語に対応し、絵文字作成機能や音声指示機能を25年4月より提供開始した。他方、生成AI機能の劣勢が指摘されていたが次期OSの生成AI基盤として、グーグルの最新モデル「Gemini3」の採用交渉が大詰めとの報道が26年1月に浮上。自社版「アップルインテリジェンス」と併用し、弱点とされる高度な推論・検索機能を補完する狙い。

□ **10-12月期は歴史的増収**: 25年10-12月期は前年同期比16%増収、同16%最終増益。9月発売の「アイフォン17」および薄型「アイフォンエア」はAI処理能力が大幅に強化され、旧機種からの記録的な買い替え需要を創出、中華圏売上も38%増と急回復した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	258.28 ( 01/29 )
52週高値(日付)	288.6 ( 25/12/03 )
52週安値(日付)	169.22 ( 25/04/08 )
時価総額	3兆7,962億ドル 581兆2332億円
株価変化率(%)	23.5 (過去6ヶ月間) 8.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	32.7 (倍)
株価売上高比率	8.8 (倍)
PBR	43.1 (倍)
税配当利回り(%)	0.40 (直近年率)
配当成長率(%)	4.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	152.0 (%)
株式ベータ	1.07 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
2025/09	416,161	6	133,050	8	112,010	19	7.46	1.02

四半期業績								
2025/Q1	124,300	—	42,832	—	36,330	—	2.40	0.25
2026/Q1	143,756	16	50,852	19	42,097	16	2.84	0.26

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

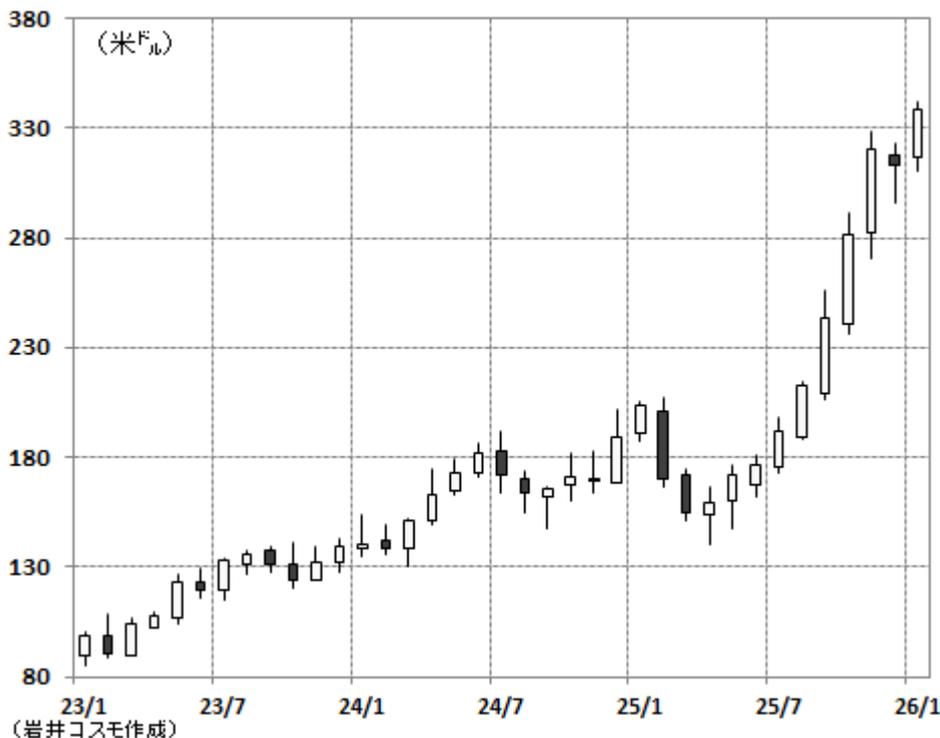
#### 会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は190,167人(25年9月末)。

#### 注目ポイント

□ **生成AI「Gemini 3」とクラウドの加速**: 7-9月期売上高が前年同期比16%増の1,023億ドルと初の1,000億ドルの大台を突破。検索広告の堅調に加え、AI需要を取り込んだクラウド部門が34%増の151億ドルと急成長し利益を牽引。11月には、推論能力を飛躍させた最新AI「Gemini 3」を統合。ロボタクシー「ウェイモ」は26年に東京での展開を計画しており、AIを軸にした多角的な成長余地が再評価されている。

□ **パークシャーの新規参入と電力確保**: 11月にハフエット氏率いるパークシャー・ハサウェイが同社株(43億ドル相当)を新規取得したことが判明、市場に強い買い安心感を与えた。12月にはデータセンター用電力の供給強化のためエネルギー開発の「インターセクト・パワー」を買収することで合意した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	338.25 ( 01/29 )
52週高値(日付)	342.26 ( 26/01/29 )
52週安値(日付)	140.53 ( 25/04/07 )
時価総額	4兆0,841億ドル 625兆3092億円
株価変化率(%)	72.1 (過去6ヶ月間) 68.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	38.8 (倍)
株価売上高比率	10.7 (倍)
PBR	10.6 (倍)
税前提当利回り(%)	0.25 (直近年率)
配当成長率(%)	38.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.5 (%)
株式ベータ	1.04 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00
2024/12	350,018	14	84,293	33	100,118	36	8.04	0.60
四半期業績								
2024/Q3	88,268	—	28,521	—	26,301	—	2.12	0.20
2025/Q3	102,346	16	31,228	9	34,979	33	2.87	0.21

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

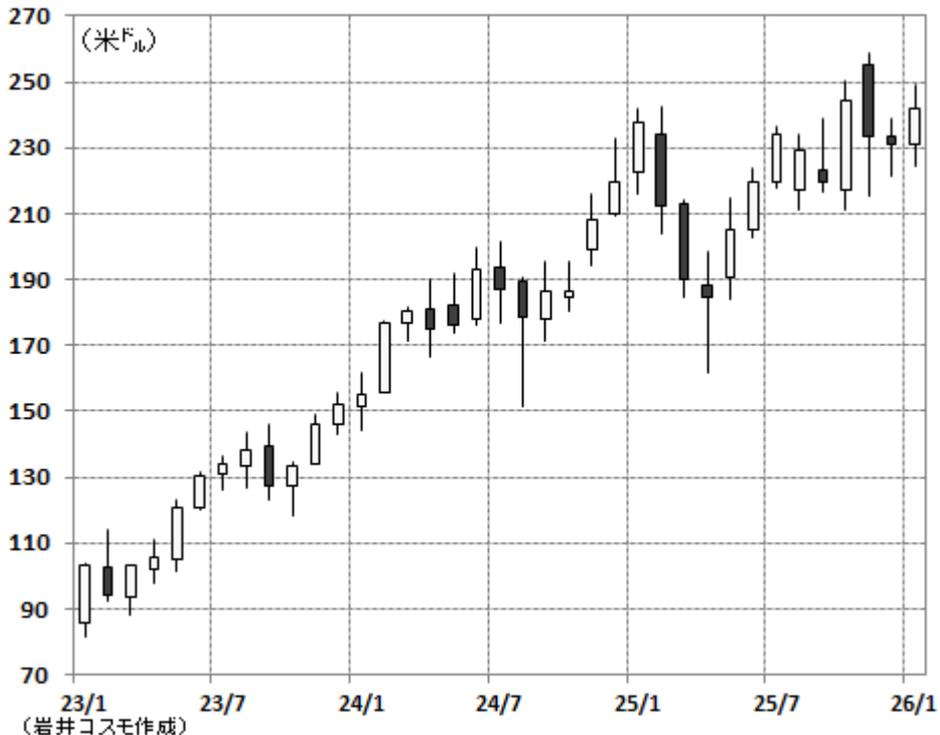
#### 会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントン州シアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

#### 注目ポイント

□ **AWSが再加速**: 7-9月期決算は、AWS(クラウド)事業が前年同期比20%増収(330億ドル)と、市場予想(18%増)を上回り22年末以来の高い伸び。会社全体の売上高も13%増の1802億ドルで予想を上回った。広告事業は24%増(177億ドル)と好調維持。オンラインストアも10%増収となった。一方、AI関連の投資増で設備投資は61%増(342億ドル)と過去最高となり、増加基調が続く見通し。

□ **AI事業の貢献期待**: CEOはAI事業の勢いを強調、小売アプリのAIチャットボット「ルーフラス」が年100億ドルの追加売上をもたらすと試算。また、1月には過去最大規模となる約1.6万人の追加人員削減を含む組織再編を発表。自動化推進により、更なる収益性の向上を狙う。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	241.73 ( 01/29 )
52週高値(日付)	258.59 ( 25/11/03 )
52週安値(日付)	161.56 ( 25/04/07 )
時価総額	2兆5,841億ドル 395兆6586億円
株価変化率(%)	5.0 (過去6ヶ月間) 3.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	36.2 (倍)
株価売上高比率	3.7 (倍)
PBR	7.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	24.3 (%)
株式ベータ	1.27 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00

#### 四半期業績

2024/Q3	158,877	—	17,411	—	15,328	—	1.43	0.00
2025/Q3	180,169	13	17,422	0	21,187	38	1.95	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 日々35億人超のユーザーが利用する世界最大のSNS運営会社

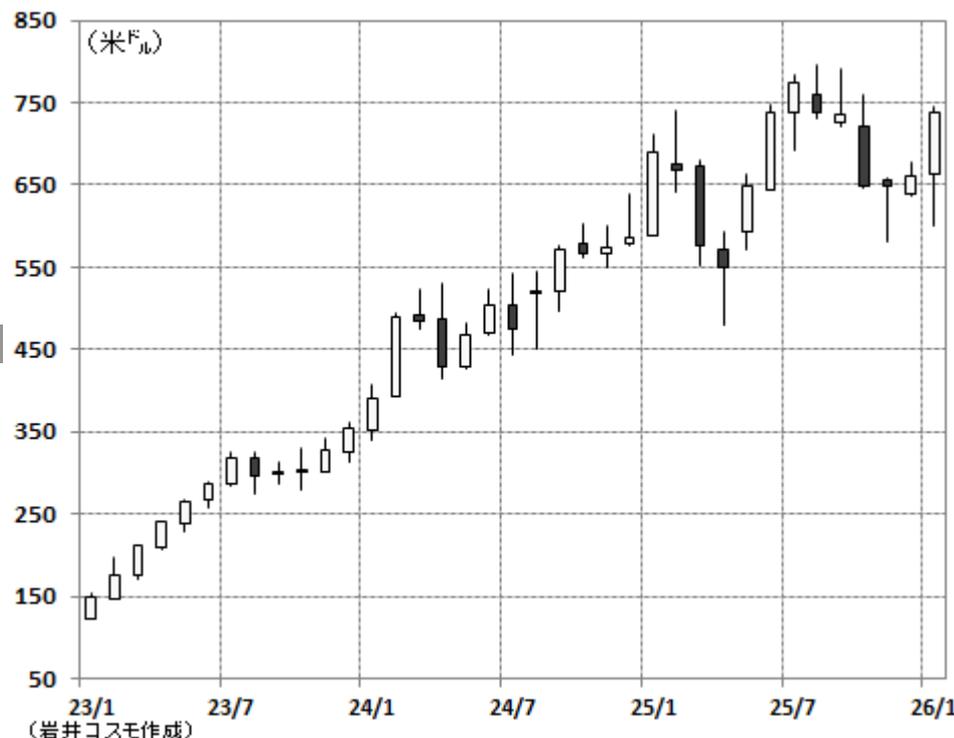
#### 会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(Instagram等も含む)は全世界で35.8億人(25年10-12月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は78,865人(25年12月末時点)。

#### 注目ポイント

□ **AI広告の結実と成長加速**: 10-12月期売上高は前年同期比23%増の493億ドルと過去最高を更新。AIによる広告最適化システム「Llama 4」の実装も奏功し広告単価が6%上昇、広告表示回数18%増加した。生成AI「Meta AI」の月間利用者は全世界で12億人を突破、検索広告に代わる新たな収益源として期待される。

□ **巨額設備投資に強気姿勢**: レイバン・メタのスマートグラスが歴史的な大ヒットを記録、赤字続きの「リアリティラボ」部門の今後の収益改善を見込む。他方26年設備投資計画はAIインフラ等に1,150億~1,350億ドルと巨額だが、「過少投資こそが最大のリスク」とCEOは強気。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	738.31 ( 01/29 )
52週高値(日付)	796.21 ( 25/08/15 )
52週安値(日付)	479.89 ( 25/04/21 )
時価総額	1兆8,682億ドル 286兆0382億円
株価変化率(%)	6.2 (過去6ヶ月間) 7.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	25.2 (倍)
株価売上高比率	9.3 (倍)
PBR	8.6 (倍)
税前配当利回り(%)	0.28 (直近年率)
配当成長率(%)	5.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.2 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	0.00
2025/12	200,966	22	83,276	20	60,458	-3	23.49	2.08

#### 四半期業績

2024/Q4	48,385	—	23,365	—	20,838	—	8.02	0.50
2025/Q4	59,893	24	24,745	6	22,768	9	8.88	0.52

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

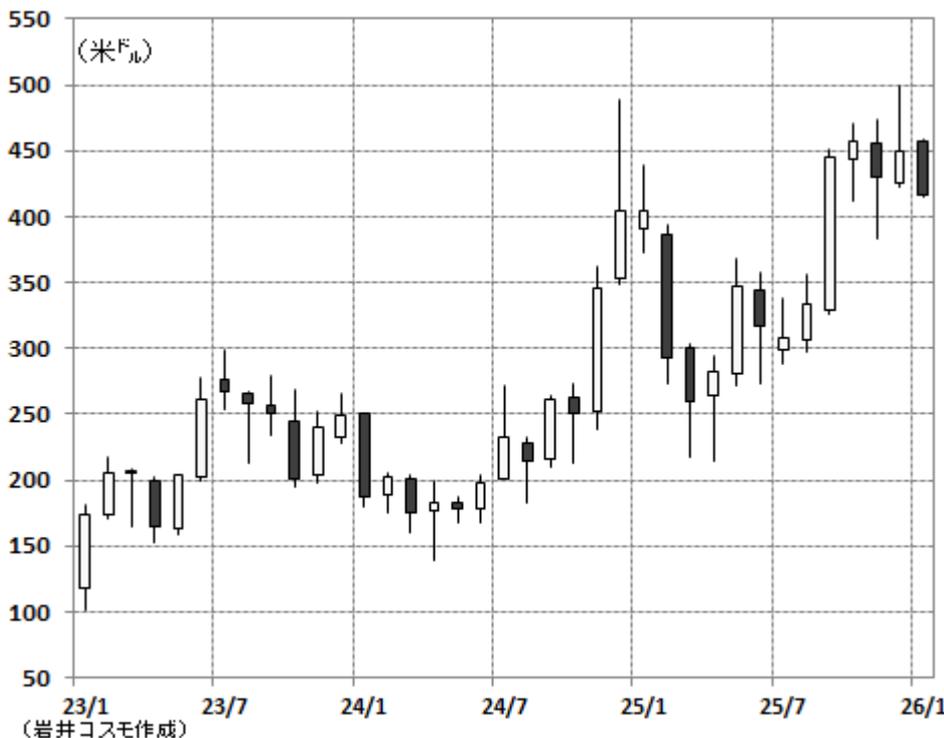
#### 会社概要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。25年のEV納車台数は前期比9%減の163.6万台。CEOのイーロン・マスク氏は米政財界で大きな影響力を持ち、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカスマ経営者として知られる。S&P500種構成銘柄。

#### 注目ポイント

□ **マスク氏AI企業への転換加速**: 25年納車台数は約164万台と前年割れも、マスク氏は「自動車会社からAI企業への転換」を強調。政府効率化省(DOGE)は11月に解散(同氏は5月に離脱済み)し、政治的混乱を経て経営に完全復帰。26年1月、オースティンで無人の商業走行を開始。年内に全米、主要数十都市でロボタクシー展開と目指す。

□ **AI・ロボタクシー投資を拡大**: 25年10-12月期は、米国での購入補助金終了に伴うEV販売減で減収減益も、他地域の販売強化が奏功し調整後EPSは予想を上回った。マスク氏は26年を「巨額投資の年」と位置付け、設備投資を前年の90億ドル未満から200億ドル超へ倍増させる計画。ロボタクシー「サイバーキャブ」は4月生産開始予定とした。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	416.56 ( 01/29 )
52週高値(日付)	498.82 ( 25/12/22 )
52週安値(日付)	214.25 ( 25/04/07 )
時価総額	1兆5,631億ドル 239兆3282億円
株価変化率(%)	30.6 (過去6ヶ月間) 4.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	345.7 (倍)
株価売上高比率	14.2 (倍)
PBR	16.9 (倍)
税配前当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.9 (%)
株式ベータ	1.64 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00
2025/12	94,827	-3	4,355	-38	3,794	-46	1.08	0.00

#### 四半期業績

2024/Q4	25,707	—	1,583	—	2,125	—	0.60	0.00
2025/Q4	24,901	-3	1,409	-11	840	-60	0.24	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

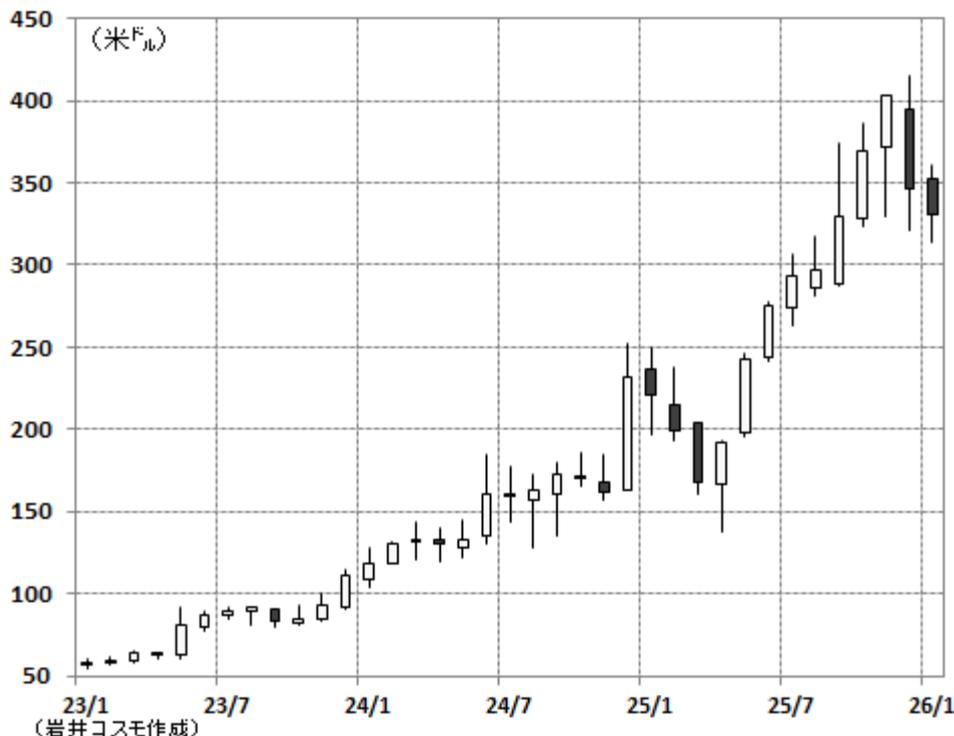
#### 会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

#### 注目ポイント

□ **カスタム半導体等のAI半導体を供給**： 巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC (特定用途集積回路) を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバ-同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。

□ **AI半導体の顧客増加で業界優位に**： カスタムAIアクセラレータ (XPU) や高速ネットワーク機器向けが好調な同社のAI半導体は、8-10月期に前年同期比74%増の64億ドルを記録、11-1月期は82億ドルを見込む。会社側では26年度のAI半導体の成長率は25年度を上回り加速するとの見方。オープンAIとの大規模提携に加え5社目の顧客も獲得し、今後18カ月のAI関連受注残高は730億ドルに達している。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	330.73 ( 01/29 )
52週高値(日付)	414.6 ( 25/12/10 )
52週安値(日付)	138.11 ( 25/04/07 )
時価総額	1兆5,681億ドル 2,40兆0,890億円
株価変化率(%)	9.3 (過去6ヶ月間) 53.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	61.9 (倍)
株価売上高比率	24.4 (倍)
PBR	19.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.79 (直近年率)
配当成長率(%)	11.5 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	31.0 (%)
株式ベータ	2.03 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/10	51,574	44	13,463	-17	5,895	-58	1.23	2.105
2025/10	63,887	24	25,484	89	23,126	292	4.77	2.360

#### 四半期業績

2024/Q4	14,054	—	4,627	—	4,324	—	0.90	0.530
2025/Q4	18,015	28	7,508	62	8,518	2	1.74	0.590

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### データ管理ソフト世界最大手、インフラクラウド市場で大躍進

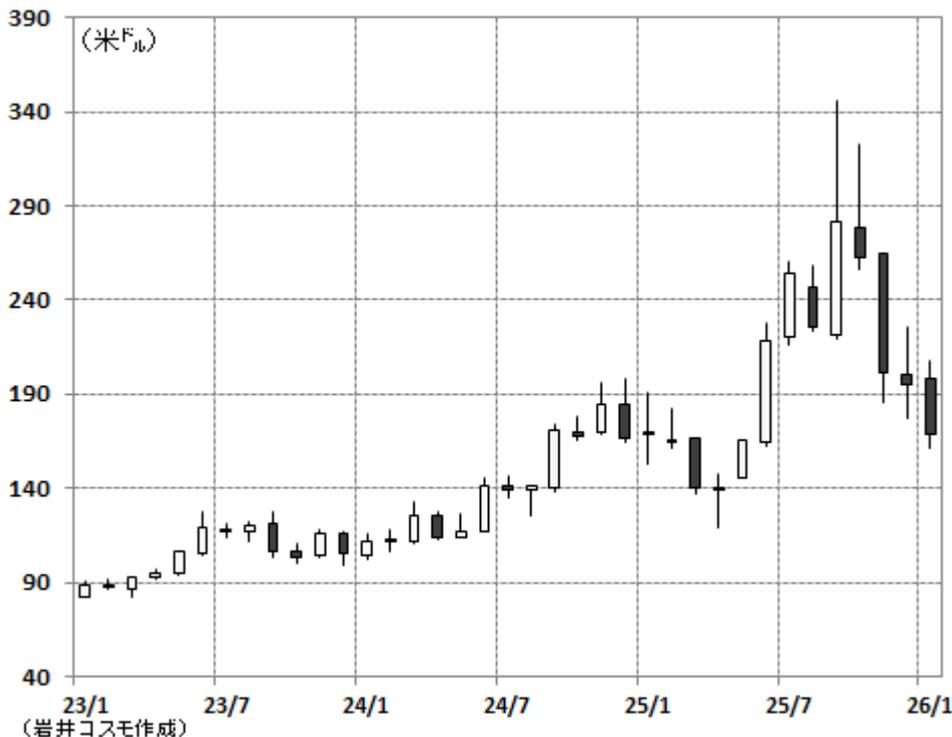
#### 会社概要

1977年創業のマイクロソフトに次ぐ、世界2位のソフトウェア会社。法人向けデータベース管理システム(DNMS)が代表製品でデータ保護等の安全性や拡張性の高さが特長。2005年に基幹業務システムのピュールソフト買収後はM&Aを積極化、業務用ソフトを強化。2010年にサン・マイクロを買収、サーバー市場分野に進出。近年はサブスク型のクラウドサービスへのシフトを進める。創業者兼会長のラリー・エリソン氏が筆頭株主。

#### 注目ポイント

□ **マルチクラウド戦略で大躍進**: オラクルはAWS等の大規模クラウド業者と連携を強化、顧客が複数のクラウド環境を円滑に統合・活用するソリューションを提供。自社の高性能データベースを他社クラウド上で直接利用できるにし、効率性や耐障害性を高める取り組みが奏功する。

□ **クラウド受注が急増**: 11月末の受注残は前年同期比約5.4倍の5,233億ドルに急増、メタやエヌビディアの契約もあり、前四半期4,550億ドルからさらに積み上がった。インフラクラウド事業売上は同68%増収と高成長を記録した。ただ積極投資を捻出する高水準の有利子負債は懸念材料。経営陣は独自の調達手法やレンタルモデル活用により資金支出を抑制し、投資適格格付けの維持を確約した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	169.01 ( 01/29 )
52週高値(日付)	345.69 ( 25/09/10 )
52週安値(日付)	119.01 ( 25/04/07 )
時価総額	4,856億ドル 74兆3,483億円
株価変化率(%)	-32.6 (過去6ヶ月間) -0.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	30.7 (倍)
株価売上高比率	7.8 (倍)
PBR	16.2 (倍)
税前配当利回り(%)	1.18 (直近年率)
配当成長率(%)	25.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	70.6 (%)
株式ベータ	1.39 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/05	52,961	6	15,353	17	10,467	23	3.71	1.60
2025/05	57,399	8	17,678	15	12,443	19	4.34	1.70

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2025/Q2	14,059	—	4,220	—	3,151	—	1.10	0.40
2026/Q2	16,058	14	4,731	12	6,135	95	2.10	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### IT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウドやAI分野で収益基盤を再構築

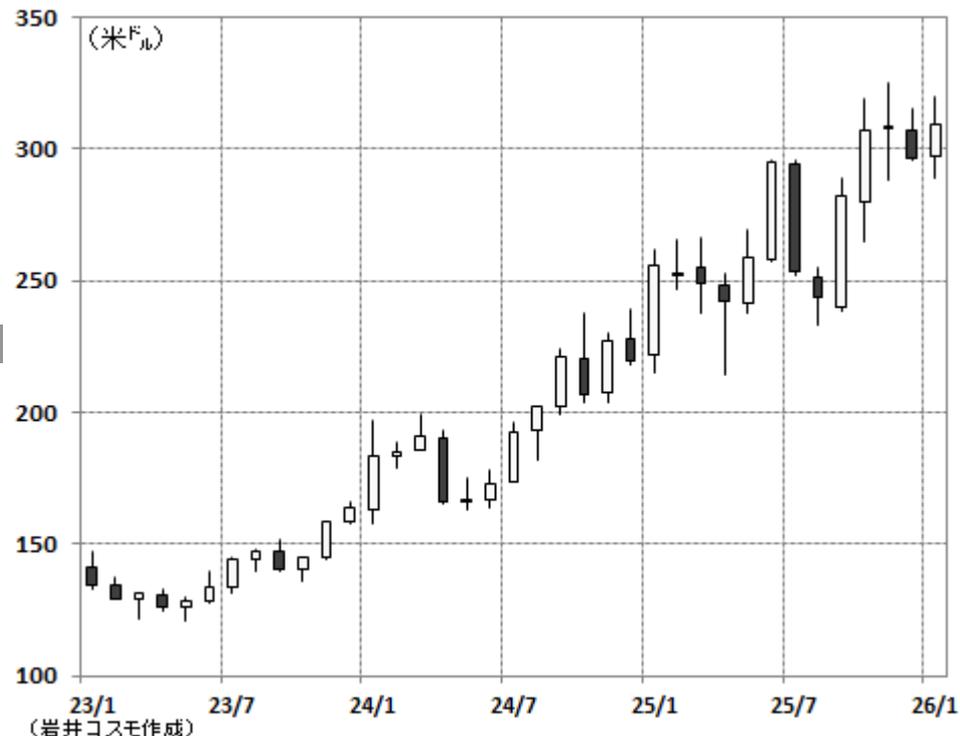
#### 会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許の取得件数の年間ランキングで上位の常連組。1960～70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだものの、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

#### 注目ポイント

□ **ハイブリッドクラウドとAIへ集中**: 2019年のレッドハット買収を機にITインフラ保守事業を切り離し、「ソフトウェア」と「コンサル」を中心の高収益体質へ転換。この改革が奏功し、25年通期はフリーキャッシュフローが147億ドルと過去10年で最高水準に到達した。量子コンピュータでは、29年までの実用化を目指し、次世代計算分野でも先頭を走る。

□ **生成AI受注と業績が加速**: 25年10-12月期は売上高が前年比12%増、調整後1株利益も市場予想を上回った。生成AI関連の累積受注額は125億ドルを突破し、わずか3ヶ月で約30億ドル積み増す急成長を見せている。新型メインフレーム「IBM Z」の売上が同61%増と大幅に伸びて収益を牽引。26年も5%超の増収を計画する。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	309.24 ( 01/29 )
52週高値(日付)	324.9 ( 25/11/12 )
52週安値(日付)	214.62 ( 25/04/07 )
時価総額	2,891億ドル 44兆2,576億円
株価変化率(%)	18.8 (過去6ヶ月間) 19.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.0 (倍)
株価売上高比率	4.3 (倍)
PBR	8.9 (倍)
税引前配当利回り(%)	2.18 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.3 (%)
株式ベータ	0.78 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/12	62,753	1	5,797	-33	6,023	-20	6.43	6.67
2025/12	67,535	8	10,328	78	10,593	76	11.17	6.72
四半期業績								
2024/Q4	17,553	—	3,306	—	2,915	—	3.09	1.67
2025/Q4	19,686	12	4,144	25	5,600	92	5.88	1.68

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 防衛から民間大手まで広範に使用可能なデータ分析プラットフォームを提供

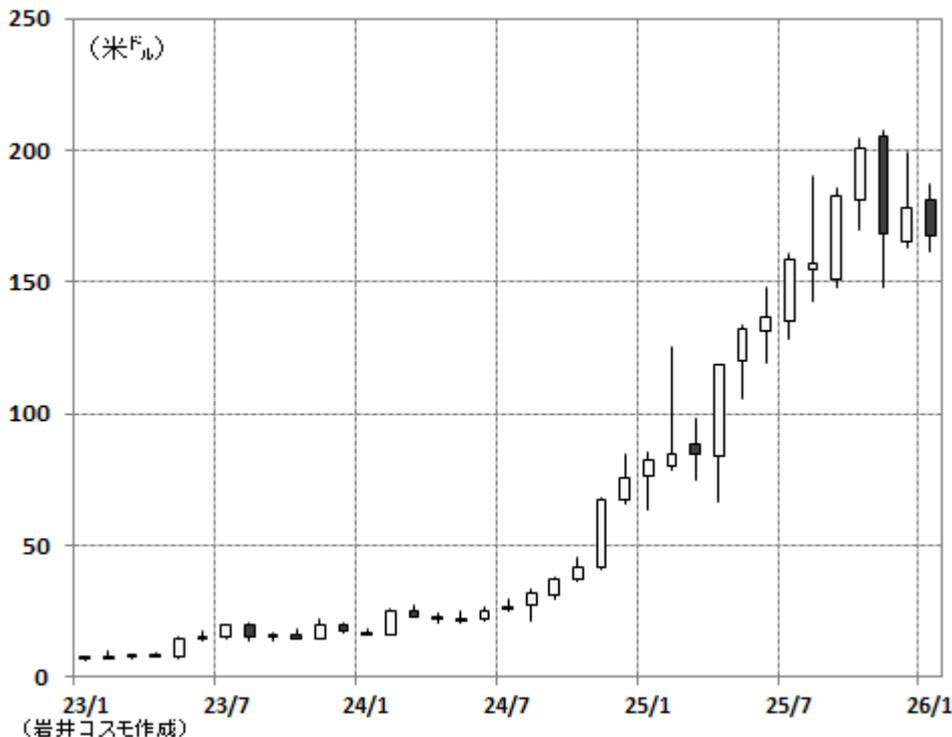
#### 会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティール氏やCEOのアレキサンダー・カプ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。同社株式は2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用、同年11月にナスダックに鞍替え、翌12月にナスダック100指数に採用された。

#### 注目ポイント

□ **祖業はテロ対策**：2008年に米諜報機関向け「ゴッサム」を開発、ヒンラテン容疑者の捜索にも貢献したことで知られる。現在は生成AIプラットフォーム「AIP」を核に展開し、西側の政府機関で採用が拡大。民間向け「ファウントリ」は製造、金融、ヘルスケア等、世界の約90業界で導入が進み、顧客の意思決定を高度化している。

□ **AIPが業績牽引**：25年9月の顧客数は前年比45%増の911と急増中。AIプラットフォーム「AIP」が好調で顧客企業で開催する「ブートキャンプ」戦略が奏功し大型契約への移行が加速。米民間部門の成長が著しく、直近の決算でも顧客のプライベートな環境で安全にAIが活用できる「AIP」の需要を取り込み、収益加速が鮮明化した。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	151.86 ( 01/29 )
52週高値(日付)	207.52 ( 25/11/03 )
52週安値(日付)	66.12 ( 25/04/07 )
時価総額	3,618億ドル 55兆3,942億円
株価変化率(%)	-4.3 (過去6ヶ月間) 87.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	362.0 (倍)
株価売上高比率	91.7 (倍)
PBR	54.9 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	19.8 (%)
株式ベータ	1.95 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	2,225	17	120	黒転	210	黒転	0.09	0.00
2024/12	2,866	29	310	159	462	120	0.19	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q3	726	—	113	—	144	—	0.06	0.00
2025/Q3	1,181	63	393	3.5倍	476	3.3倍	0.18	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 銀行免許を取得し学生・住宅ローンを中心に急成長するフィンテック

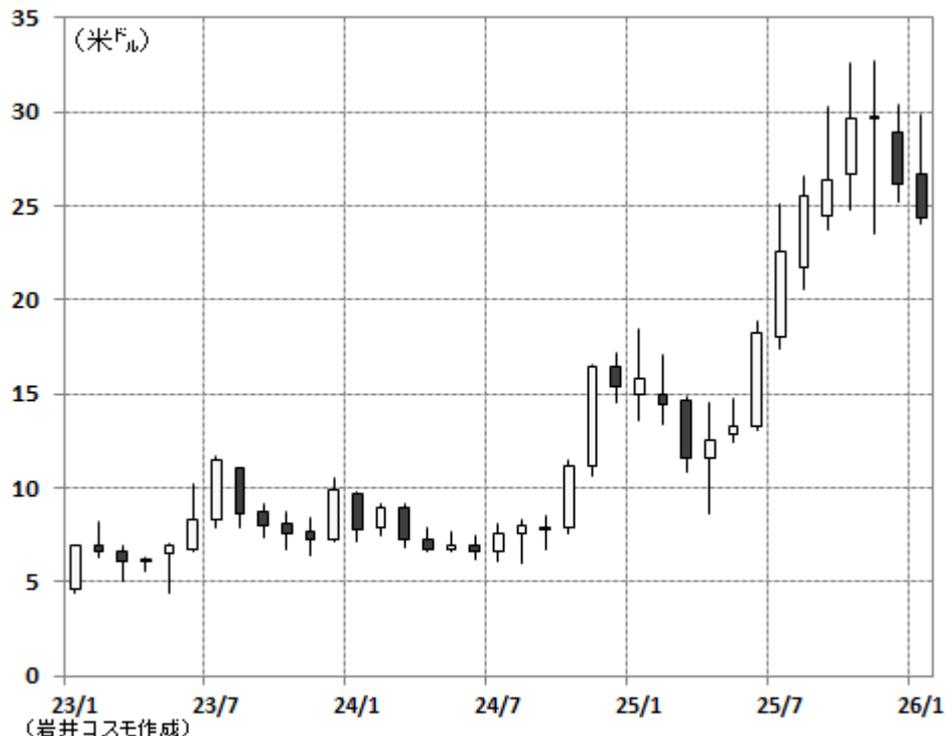
#### 会社概要

米カリフォルニア州拠点のフィンテック企業。学生・個人・住宅ローンや銀行業務、投資、クレジットカード等の金融サービスを単一プラットフォームで提供。2011年創業。事業は貸付、テクノロジー・プラットフォーム、金融サービスの3部門で構成、AI活用を進めつつ若年層中心に顧客を拡大。ソフトバンクGが出資(3.8%保有・上位株主)、21年にSPAC(特別買収目的会社)経由でナスダック上場。25年11月に暗号資産売買サービスを開始。

#### 注目ポイント

□ **仮想通貨参入で多角化**：銀行免許取得で自己資金による貸付が可能となり金利収益を最大化。テクノロジー部門では「Galileo」等を通じて他社に決済等の基盤システムも提供する。主力は個人・学生・住宅ローンだが25年11月に仮想通貨取引サービスを開始、銀行口座(SoFi Money)や投資(SoFi Invest)と合わせ金融エコシステムを拡充した。

□ **米政権の政策が追い風**：トランプ政権下の税制で政府の学生ローンに上限が設けられ、柔軟な返済計画も廃止。これにより政府ローンが使いにくくなった学生等が民間の融資機関へ向かう公算。またクレジットカード金利に上限を設ける案が浮上しており、オンライン低コストを活かし金利設定で優位な同社には追い風となる可能性がある。



株価チャート (2023年以降・月足)

#### 株価データ

株価(米ドル)	24.36 ( 01/29 )
52週高値(日付)	32.725 ( 25/11/12 )
52週安値(日付)	8.68 ( 25/04/07 )
時価総額	307億ドル 4兆6,962億円
株価変化率(%)	11.4 (過去6ヶ月間) 48.2 (過去1年間)

#### 株価指標(バリュエーション)

実績PER	45.0 (倍)
株価売上高比率	6.1 (倍)
PBR	3.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.6 (%)
株式ベータ	1.86 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	純営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	2,123	35	-301	赤継	-301	赤継	-0.36	0.00
2024/12	2,675	26	233	黒転	499	黒転	0.39	0.00

#### 四半期業績

2024/Q3	697	—	64	—	61	—	0.05	0.00
2025/Q3	962	38	149	2.3倍	139	2.3倍	0.11	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## スペースXの対抗馬、垂直統合型の宇宙ビジネス専門企業

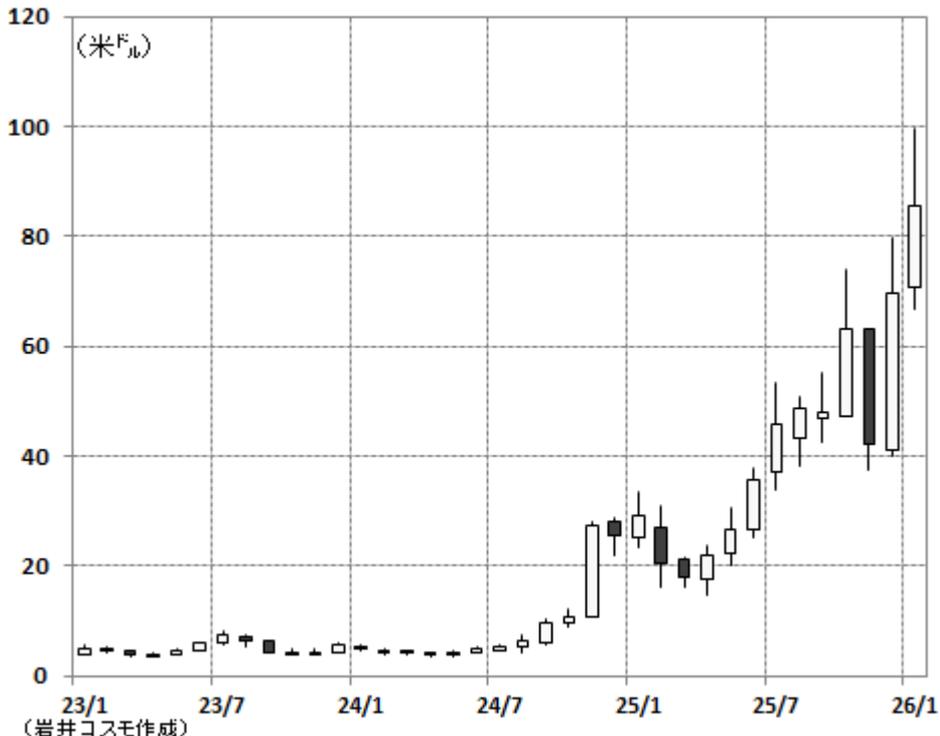
### 会社概要

スペースXの有力対抗馬と目される、ロケットの打ち上げから衛星製造、宇宙空間での運用までを一貫して手がける宇宙専門メーカー。主力である小型ロケット「エレロン」は米国で高い打ち上げ頻度を誇る一方、軍事用衛星・機材を手掛けるジオスト社やレーザー通信端末製造の独マイナリック社を25年に買収発表した。人工知能やレーザー通信等の衛星コンポーネントを内製する垂直統合型ビジネスモデルが特徴。

### 注目ポイント

□ **宇宙システム部門の躍進と大型受注の獲得**: 売上の約7割を占める宇宙システム部門が売上を牽引、またジオストやマイナリックの買収で防衛・通信分野を強化する。受注残は11億ドルを超え、さらに米宇宙開発庁(SDA)から過去最大となる約8.2億ドル規模の衛星開発・製造契約を獲得、中長期的な収益見通しが大きく改善した。

□ **次世代ロケット開発**: 再利用型の中型ロケット「ニュートロン」の開発が進展し、特徴的な開閉式フェアリングの試験を完了。同機は米宇宙軍の国家安全保障打ち上げ(NSSL)対象に選定され、今後5年間で最大56億ドルの契約枠を争う資格を得た。26年の初打ち上げに向け、スペースXに対抗し得る唯一の商用・軍事用企業として期待が高い。



株価チャート (2023年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	85.68 ( 01/29 )
52週高値(日付)	99.58 ( 26/01/16 )
52週安値(日付)	14.77 ( 25/04/07 )
時価総額	497億ドル 7兆6,101億円
株価変化率(%)	84.5 (過去6ヶ月間) 200.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	79.3 (倍)
PBR	33.2 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-23.2 (%)
株式ベータ	1.82 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	245	16	-178	赤継	-183	赤継	-0.38	0.00
2024/12	436	78	-190	赤継	-190	赤継	-0.38	0.00
四半期業績								
2024/Q3	105	—	-52	—	-52	—	-0.10	0.00
2025/Q3	155	48	-59	赤継	-18	赤継	-0.03	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

### 光部品・レーザーの米国大手、AI向け高速光通信で躍進

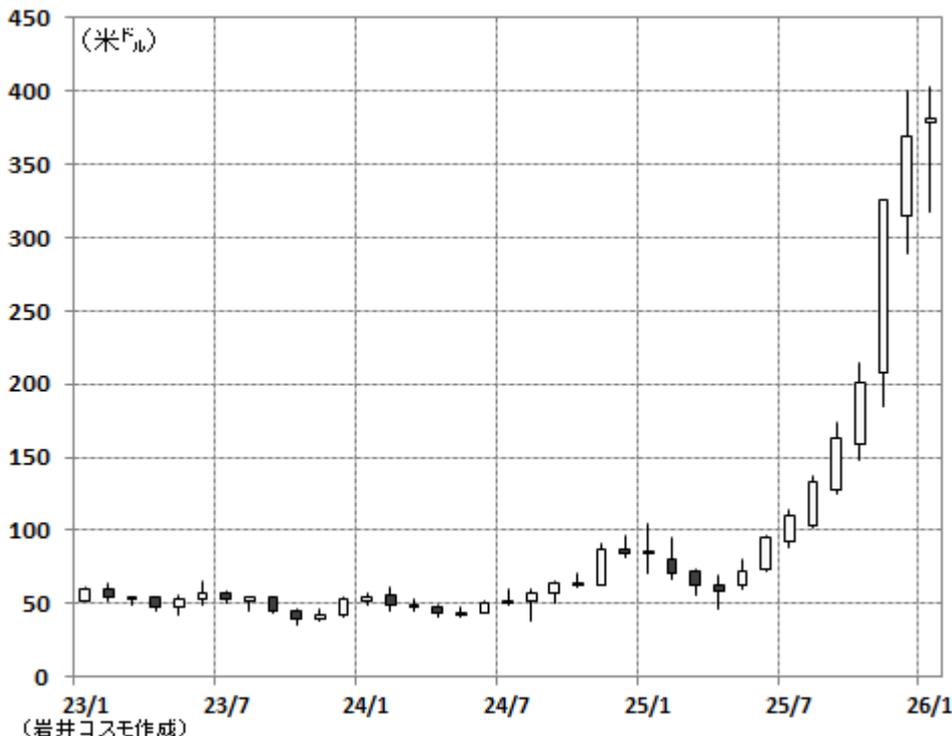
#### 会社概要

光学部品や商用レーザーの設計・製造する米国大手。光通信の先駆者であるJDSユニフェーズを前身とし、2015年の分社化を経て、光学技術に特化した独立企業として再スタートを切った。現在はクラウド・ネットワークと産業・民生の2部門を主軸とし、生成AI向け高速トランシーバの供給やiPhone用3Dセンシング、自動運転向けLiDAR用光源等、多岐にわたる成長産業の基盤を支えている。

#### 注目ポイント

□ **AIインフラ需要の急拡大で恩恵**：生成AI市場の爆発的な成長に伴う超高速通信需要を捉え、収益の約6割をAI関連が占める。クラウド・ライト社の買収によりAIサーバ・同士の超高速で繋ぐ光通信部品の供給能力を飛躍的に高めた。得意先に光伝送装置大手のシエナやグーグルを抱え、継続的な大量受注が業績全体を押し上げている。

□ **光電融合技術の中核**：データ伝送時の発熱と消費電力を極限まで抑える「光電融合」技術で中核を担い、特にチップ近傍で光接続を行う共同パッケージ光(CPO)に不可欠な超高出力CWレーザーで圧倒的シェアを誇る。光の回路を半導体に埋め込んだエスビディア製品にも採用され、従来比80%の低電力化を実現する光源を提供する。



株価チャート (2023年以降・月足)

#### 株価データ

株価(米ドル)	381.44 ( 01/29 )
52週高値(日付)	402.65 ( 26/01/07 )
52週安値(日付)	45.67 ( 25/04/04 )
時価総額	270億ドル 4兆1,407億円
株価変化率(%)	247.2 (過去6ヶ月間) 354.2 (過去1年間)

#### 株価指標(バリュエーション)

実績PER	267.4 (倍)
株価売上高比率	14.4 (倍)
PBR	34.6 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	13.4 (%)
株式ベータ	2.02 (対S&P500)

#### 通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	1,359	-23	-434	赤継	-547	赤継	-8.12	0.00
2025/06	1,645	21	-180	赤継	26	黒転	0.37	0.00

#### 四半期業績

2025/Q1	337	—	-82	—	-82	—	-1.21	0.00
2026/Q1	534	58	7	黒転	4	黒転	0.05	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

## ■商号等

取引注意事項

商号等： 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会：日本証券業協会

## ■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265% (税込み、ただし最低2,750円)の委託手数料をご負担いただきます。
  - ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金(円貨)が7.5万円以下の場合は11.0%(税込)、7.5万円超50万円以下の場合は8,250円(税込)、50万円超の場合は最大で(約定代金の1.00%+2,500円)×1.1(税込)の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
  - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
  - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
    - 販売手数料(購入価額に対して最大3.85%(税込))
    - 信託財産留保額(換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%)
    - 信託報酬(信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%(税込))
    - その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

## ■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
  - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。